

MUSEUM NEWS

2021.6 ▶ 2021.7

埼玉 150 周年記念展

埼玉の美術史 1871-1960

とき・6/1(火)～6/23(水)

ところ・2階展示室

内容・埼玉県が誕生した1871年から1960年までの90年間は、明治初期から高度経済成長期にいたるまで、社会が大きく変化した時代でした。この間に埼玉で育まれた美術の動向は、時代背景や東京に隣接しつつ穏やかな自然に恵まれた埼玉の風土と深く結びついています。この展覧会では、埼玉にゆかりの深い美術家の作品資料を通して、90年にわたる地域の美術の歴史をひもといていきます。



大久保喜一『小春日和』1928年 熊谷市立熊谷図書館蔵

観覧料・一般1000円(800円)、大高生800円(640円)

※ ()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。
※ 本展では「ぐるっとパス」はご利用になれません。

問合せ・埼玉県教育局文化資源課 (TEL:048-830-6925)

ボイス+パレルモ

とき・7/10(土)～9/5(日)

※ 会期中一部作品の展示替えがあります。
前期:7/10(土)～8/9(月)、後期:8/10(火)～9/5(日)

ところ・2階展示室

内容・第二次世界大戦以降の最も重要な芸術家のひとり、ヨーゼフ・ボイス。彼はひろく社会を彫刻ととらえ、社会全体の変革を企てました。そのボイスに師事したプリンキー・パレルモは、ささやかで抽象的な作品によって私たちの認識を静かに揺さぶろうとしました。一見対照的な両者をあわせて紹介する本展は、社会と芸術のかかわりについて問いかけ、芸術の営為とはなにかを見つめなおす機会となるはずです。

観覧料・一般1300円(1040円)、大高生1040円(830円)

※ ()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。



ヨーゼフ・ボイス『ジョッキー帽』1963.85年 豊田市美術館蔵
© VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2021 E4203

MOMAS コレクション (収蔵品展)

2021年度 第1期

とき・4/24(土)～7/11(日)

※ 会期中一部作品の展示替えがあります。
前期:4/24(土)～6/6(日)、後期:6/8(火)～7/11(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※ ()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇セクション

パブロ・ピカソほか、MOMASコレクションの名品を紹介します。

◇さいきんのだまもの

過去3年の間に、新たに当館に加わった作品をお楽しみください。



パウル・クレール『古代風の二重肖像』1933年

2021年度 第2期

とき・7/17(土)～10/17(日)

ところ・1階展示室

観覧料・2021年度第1期の観覧料と同一です。

◇セクション

シニャックほか、MOMASコレクションの名品を紹介します。

◇色彩と軌跡-ジャコモ・バッラ《進行する線》を起点に

イタリア未来派で活躍した画家ジャコモ・バッラ(1871-1958)原画によるカーペットと、色彩や運動への関心があらわれた収蔵作品を展示します。

《関連イベント》

○サンデー・トーク

6・7月の実施は未定です。
実施する場合は、HP等でお知らせします。



アリスティド・マイヨール『イル・ド・フランス』1925年

アート体感ワークショップ MOMAS のとびら

全プログラム事前予約制です。
当館ホームページからお申込みください。

《6月のプログラム》

6月分のお申込みは5/1(土)から受け付けています。

○み〜つけ!

とき・6/5(土)、6/12(土) 各日13:30～15:00

対象・4～6歳(未就学児)+保護者

費用・無料

○親子クルーズ

とき・6/26(土) 13:30～15:00

対象・小・中学生+保護者

費用・500円

《7月のプログラム》

7月分のお申込みを6/1(火)から受け付けます。

○親子クルーズ

とき・7/3(土) 13:30～15:00

対象・小・中学生+保護者

費用・500円

○工房

とき・7/17(土)、7/24(土) 各日13:30～15:00

対象・小学生～大人

費用・500円

※ 開催日が複数あるプログラムは、いずれも同じ内容を実施します。複数の実施日にお申込みいただいても構いませんが、ご参加いただくのはそのうち1日のみとさせていただきます。また、応募が定員以上の場合は、抽選とさせていただきます。ご了承ください。
※ 親子クルーズは、MOMASコレクションが企画展のどちらかに関連した活動を行います。
※ 各プログラムの実施時間等は変更になる可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

「MOMASのとびら」のページ
<https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら>



一般展示室 (地階)

※ 日程・内容は変更される場合があります。
※ 展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

- ◆6/1(火)～6/6(日) 第11回ラルゲット展……………一般展示室2
- ◆7/6(火)～7/11(日) ポローニア展……………一般展示室3
flowers……………一般展示室4
- ◆7/7(水)～7/11(日) 第40回埼玉県高等学校写真連盟写真展……………一般展示室1
- ◆7/13(火)～7/18(日) 埼玉独立展……………一般展示室1
2021埼玉モダンアート展……………一般展示室2・3
- ◆7/20(火)～7/25(日) 第47回埼玉二紀展……………一般展示室1～4
- ◆7/27(火)～8/1(日) 第30回記念旺玄会埼玉支部展……………一般展示室2～4

MOMASコレクション第2期

色彩と軌跡

—ジャコモ・バッラ《進行する線》を起点に

このたび久しぶりに展示することになった《進行する線》。写真では伝わりづらいのですが、実は絵ではなく布製のカーペットです。幅は約2.4メートル、鮮やかな色づかいも相まって抜群の存在感を放っています。



ジャコモ・バッラ《進行する線》原画:1925-30年

原画を制作したジャコモ・バッラ(1871-1958)は、イタリア未来派で活躍した画家の一人です。イタリアでは19世紀後半から工業化・都市化が進み、生活環境が大きく変化しました。鉄道や自動車は人々にかつてないスピード感覚をもたらし、夜の街路を照らす電灯は光への認識を大きく変えていきます。そんな新時代の感性にふさわしい芸術を求めて1909年に起こった未来派の運動は、詩、絵画、彫刻、音楽、写真、建築、ダンスなどさまざまな分野へと波及しました。

バッラは、未来派がもたらした革新を、生活のあらゆる場面に応用しようと試みました。インテリアデザインは、バッラが熱心に取り組んだ分野の一つです。《進行する線》のようなカーペットやタペストリーのほか、カラフルで遊び心あふれる家具やオブジェも制作しています。

ここで、バッラが探究したダイナミックな表現を、「色彩」と「軌跡」という二つのキーワードから読み解いてみましょう。

■色彩

もともと分割主義の技法で制作していたバッラは、光や色彩を分析的にとらえることに長けていました。三角形の色面を連ねた実験的なシリーズ「虹の相互浸透」は、光がプリズムによって七色に分解される現象から着想を得たといえます。

また、1918年に発表した「色彩宣言」においては、イタリア未来派の絵画は「色彩の爆発」でなければならないと述べています。バッラにとって、色彩は物体に付随するものではなく、それ自体が主題となりうるものでした。

■軌跡

バッラの着想源の一つとして、フランスの生理学者エティエンヌ＝ジュール・マレが考案したクロノフォトグラフィがあります。これは、連続撮影によって被写体の動きの軌跡を複数の像として一枚の写真に記録する技術です。



エティエンヌ＝ジュール・マレ『飛ぶ鳥』1885年頃

散歩する犬のせわしない脚の動き、バルコニーを駆けてゆく幼い娘。バッラは身の回りのさまざまな対象の動きを、連続するイメージの集合体としてとらえようとしてきました。さらには自動車の運動を分析し、その速度や空間への影響を、渦巻きや直線、三角形といった幾何学的な形態によって表すことを試みるようになります。

「色彩」と「軌跡」の探究はやがて総合され、幾何学的で色彩豊かな独自の抽象表現として結実します。まるで万華鏡のような《進行する線》の色と形態は、バッラの光や運動への関心から生まれたものなのです。

MOMASコレクション第2期「色彩と軌跡」では、《進行する線》と併せて、色彩のさまざまなパターンや動きの軌跡を表現した収蔵品を展示します。ぜひ作品どうしを見比べながらご覧ください。バッラを起点として収蔵品を見渡すことで、新しい視点が生まれることを願っています。(S.A.)

ミュージアム・ショップおすすめ商品

雨の日のお出かけが楽しくなりそうな長傘のご紹介をします。人気の絵画をテキストスタイルにし、持ち手には手に馴染みやすい天然木を使用しています。新たにUVカット加工が付きました。絵柄は、モネの睡蓮、ファン・ゴッホのひまわり、モリスの果物の3種類になります。雨の日はもちろん、日差しが強い日にも使える晴雨兼用傘なので、これからの季節には欠かせない1本になりそうですね。



アートアンブレラ ¥3,300円(税込)
ポリエステル製、観音の長さ58cm、全長89cm

zocalozocalozo 編集後記 zocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozo

「ボイス+パレルモ」は、コロナ禍で会期変更を余儀なくされましたが、関係者のご協力のもとようやく開催できる運びになりました。ドイツの戦後美術だけでなく、60～70年代の美術動向を考える上で恰好の展覧会です。(H.I.)
今年も新収蔵品をご紹介することができました。貴重な作品をご寄贈・ご寄託いただき、心より感謝申し上げます。(M.H.)

zocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozo

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。

※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。



所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 URL・<https://pref.spec.ed.jp/momas/>
代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
開館時間・10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)
休館日・月曜日、6/29～7/2 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください。

※本紙記載の展覧会やイベントについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更・中止となる場合があります。来館の際は、事前に当館ホームページをご確認ください。

発行・埼玉県立近代美術館 編集・平野到・真中博行 原稿執筆・(O.I.)大浦周 / (S.S.)佐原しおり / (S.A.)佐伯綾希 / (H.I.)平野到 / (M.H.)真中博行 広報協力・JR 東日本大宮支社